

## 第2回がん・生活習慣病対策・歯科・医薬WG会議などにおける主な議論について

## ○がん・生活習慣病対策・歯科・医薬WG（開催日5月31日（水））

分野	主 な 議 論
CKD （慢性腎 臓病）対 策	○ 取組の方向性について ・ 啓発活動が大事であり、糖尿病の重症化予防と一体的に取り組むことが必要との 意見があった。 →資料 11-2 2 ページ「3 透析導入患者の原疾患」に記載



# CKD(慢性腎臓病)対策

## 第1 現状と課題

### 1 CKD(慢性腎臓病)の患者数

○ 成人の8人に1人がCKD(慢性腎臓病)と推計されていますが、それ以外に腎機能異常に気付いていないCKD(慢性腎臓病)患者が多数存在すると推測されます。

【表1】 全国及び長野県の患者推計数

推計患者	CKD患者	うち要治療者*1
全国	約 1330 万人 (12.9%)	約 590 万人 (5.7%)
長野県*2	約 22 万人	約 10 万人

(日本腎臓学会 CKD 診療ガイド 2012 による推計値)

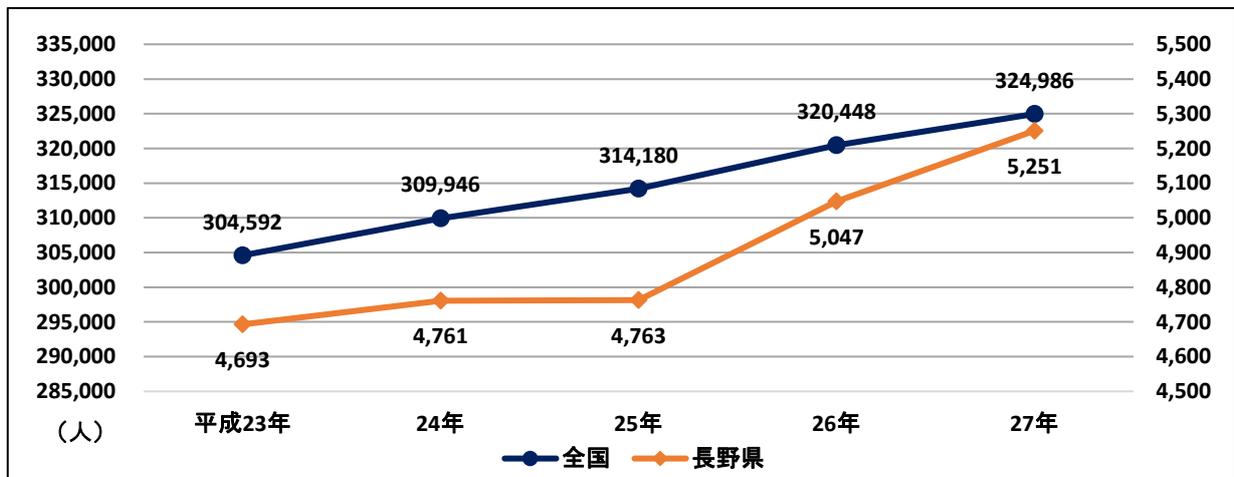
\*1 タンパク尿が陽性または、GFR50ml/分/1.73 m<sup>2</sup>未満

\*2 長野県の患者及び要治療者(全国の値を基に、長野県毎月人口異動調査 H29.4.1 による 20 歳以上人口 1,711,838 人から推計)

### 2 慢性人工透析の患者数と原疾患

- 慢性人工透析患者数は本県、全国で増加傾向にあります。
- 透析導入の原疾患としては糖尿病性腎症が最も多くなっています。
- 透析導入患者の高齢化を反映し、腎硬化症が増加傾向にあります。
- 透析導入患者数の減少のためには、糖尿病の重症化予防と一体的に取り組む必要があります。

【図1】 慢性人工透析患者数の推移



(日本透析医学会 図説「わが国の慢性透析療法の現況」)

【表2】 長野県の人工透析患者について

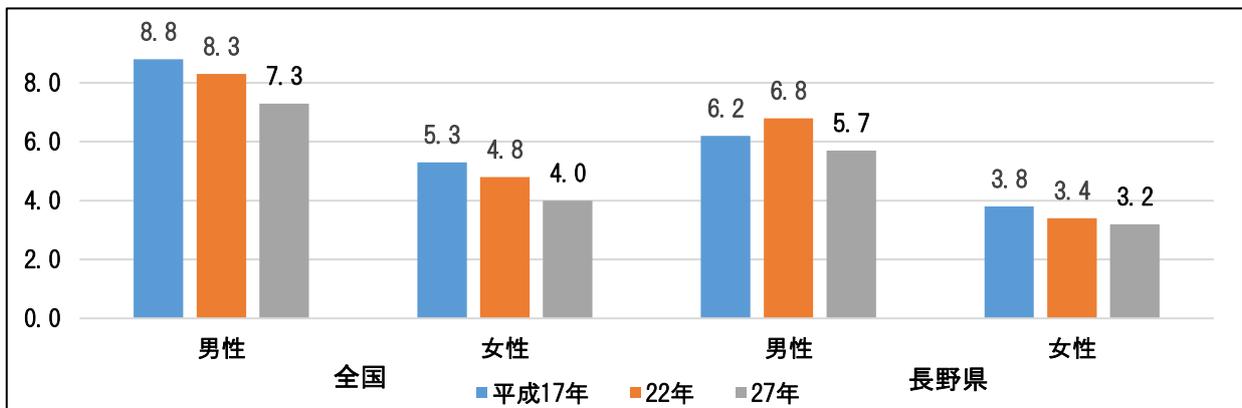
区分		23年	24年	25年	26年	27年
長野県	透析治療患者数	4,693	4,761	4,763	5,047	5,251
	新規透析導入患者のうち 原疾患に記入があった患者 数	596	567	514	595	545
	新規透析導入患者のうち 糖尿病性腎症の患者数	231	251	214	236	219
全国 原疾患 割合	透析治療患者数	304,592	309,946	314,180	320,448	324,986
	糖尿病性腎症 (%)	44.3	44.2	43.8	43.5	43.7
	慢性糸球体腎炎 (%)	20.2	19.4	18.8	17.8	16.9
	腎硬化症 (%)	11.8	12.3	13.1	14.2	14.2

(厚生労働省「人口動態統計」、(日本透析医学会 図説「わが国の慢性透析療法の現況」)

### 3 腎不全による死亡

- 本県、全国ともに腎不全による年齢調整死亡率は減少傾向にあります。

【図2】 腎不全による年齢調整死亡率（人口10万対）



(厚生労働省 人口動態特殊報告「都道府県別年齢調整死亡率」)

### 4 市町村における取組

- CKD（慢性腎臓病）予防のために、市町村では下記の取組を行っています。

【表3】 市町村における取組内容

取組	実施内容	実施状況	
住民向けの啓発	講演会等	24市町村	31%
検査の実施	血清クレアチニン検査	74市町村	96%
保健指導	検査の結果に基づく指導	59市町村	77%

(保健・疾病対策課 平成27年度調査)

## 第2 今後目指すべき方向と施策の展開

### 1 早期受診を促す体制づくり

- 関係機関による周知の機会の増加
- 健診受診率の向上のための広報の実施
- 慢性腎臓病（CKD）のリスクの理解と早期発見のための検査（尿検査・血清クレアチニン）の受診
- 保健指導を実施する者を対象とした、慢性腎臓病（CKD）に関する研修会の実施

### 2 重症化予防への取組み

- 健診の結果に基づいた、必要な保健指導や医療機関の受診
- 慢性腎臓病悪化を予防するための生活習慣の改善

### 3 医療連携体制の構築支援

- 慢性腎臓病治療患者へかかりつけ医と市町村が連携した保健指導の実施
- かかりつけ医などによる日常からの生活習慣指導や治療を実施するため、関係機関等と連携し、かかりつけ医の研修を実施します。

## 第3 数値目標

### 1 早期受診を促す体制づくり

指 標	現状 (H29)	目標 (H35)	目標数値 の考え方	備 考 (出典等)
腎不全による年令調整死亡率 男性 女性	長野県 5.7 全 国 7.3 長野県 3.2 全 国 4.0 (H28)	男性 5.7 以下 女性 3.2 以下	現状より 減少とする。	人口動態特 殊報告
人工透析患者数	長野県 5,251 人 全 国 324,986 人 (H27)	5,251 人以下	現状より 減少とする。	日本透析医 学会
新規に糖尿病性腎症で人工透析 導入になった患者数	長野県 219 人 全 国 16,072 人	219 人以下	現状より 減少とする。	日本透析医 学会

	(H27)			
糖尿病が強く疑われる者・予備群の割合(40～74歳) 男性 ( ) % 女性 ( ) % 糖尿病が強く疑われる者・予備群の推計数(40～74歳) (再掲)	※28年調査結果 集計中 ( ) 万人	今後検討	健康日本21 (第2次)の指標を参考に 10年後に 25%の減少とし、 本計画の目標年度 である5年後の値	県民健康・栄養調査
血糖コントロール指標における コントロール不良者(HbA1cが JDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の 者)の割合 (再掲)	※28年調査結果 集計中 0.5%	現状維持	健康日本21 (第2次)の目標値	県民健康・栄養調査
関係機関等と連携した県民への 周知	実施	実施	実施	保健・疾病対策課調べ
住民向け講演会を実施している 市町村の割合	31.1% (H27)	増加	現状より増加とする。	保健・疾病対策課調べ

## 2 重症化予防への取組み

指 標	現状 (H29)	目標 (H35)	目標数値 の考え方	備 考 (出典等)
市町村における保健指導の実態調査	実施予定 (H29.3)	実施	現状維持とする。	保健・疾病対策課調べ
保健指導に携わる者の研修を開催	2回 (H27)	増加	現状より増加とする。	保健・疾病対策課調べ

## 3 医療連携体制の構築支援

指 標	現状 (H29)	目標 (H35)	目標数値 の考え方	備 考 (出典等)
市町村における保健指導の実施 (かかりつけ医との連携)	59市町村 (H27)	77市町村	全市町村 で実施する。	保健・疾病対策課調べ
関係機関と連携した、かかりつけ医の 研修開催	今後計画	実施	実施	保健・疾病対策課調べ

## コラム（案）

### 1 第6次計画のコラム

- 人工透析と医療費

### 2 第7次計画のコラム

- 人工透析と医療費
- 糖尿病性腎症について
- CKD悪化に関わる医薬品について

### （参考）

#### ● CKD（慢性腎臓病）

- CKD:chronic kidney disease（慢性腎臓病）とは、2002年にアメリカで提唱された新しい概念であり、下記のいずれか、または両方が3カ月以上続いている状態をいいます。
  - ① 腎臓の働き（GFR）が健康な人の60%以下に低下した状態（GFRが60ml/分/1.73m<sup>2</sup>未満）
  - ② タンパク尿（微量アルブミン尿を含む）などの尿異常、画像診断や血液検査、病理所見で腎障害が明らかである状態（日本腎臓学会「CKD診療ガイド2012」）
- CKD（慢性腎臓病）が進行し、重症化すると、人工透析が必要になります。また脳卒中や心筋梗塞などの発症リスクを高めます。治療開始が遅れると進行しやすいので、早期診断・早期治療が重要です。
- CKD（慢性腎臓病）の脂質異常症や肥満をきたすメタボリックシンドローム、高血圧、糖尿病、高尿酸血症などの生活習慣病が関与していますので、糖尿病などの生活習慣病予防が大切です。
- 糖尿病の増加に伴って、糖尿病性腎症も増加し、CKD（慢性腎臓病）の最大の原因となっています。また、糖尿病性腎症は、透析導入が必要になる疾患の第1位でもあります。
- CKD（慢性腎臓病）という言葉やその内容は十分周知されておらず、治療が必要な人が受診していない可能性があります。